日本知的財産仲裁センター及び関係者　各位

　事件番号：２０●●年（適●）第●号

　事 件 名：事業適合性判定（●●判定）申請事件

公正性・独立性・中立性に関する言明書

　私は、頭記の判定申請事件（以下「本申請事件」という。）において、判定人としての職務を行うことにつき、次のとおり言明します。

　１．私は、申請人又は申請人が特定利害関係者指定書により本申請事件につき利害関係を有する第三者として指定した者（以下「特定利害関係者」という。）から独立かつ中立の立場にあります。

　２．私は、自己の職務を、独立かつ中立の立場において、誠実に行います。

　３．私は、自己の公正性・独立性・中立性について疑いを生じさせるおそれのある事由（下記の阻害事由）があること、又は生じたことを知ったときは、直ちにこれを開示します。

　４．私は、下記記載の事由が、自己の公正性・独立性・中立性を阻害するおそれがあるものであることを認識し、

**□**これらのいずれの事由にも該当しないことを確認しました。

**□**別紙のとおり、第　項に該当することを開示します。

（註：いずれかの□にチェックし，該当項目がある場合は，添付別紙に記入してください。）

　　　　　　　　　　年　　　月　　　日

　　　　　　　　　　　　　　判定人　\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_㊞

公正性・独立性・中立性を阻害するおそれのある事由

１．申請人、特定利害関係者又は判定対象事業に影響を与える可能性の有無について検討を要する他者の発明又は考案（以下「他者発明等」という。）の権利者のいずれかの役員、顧問、従業員若しくは代理人であること、又は過去５年以内においてそうであったこと。

２．申請人、特定利害関係者又は他者発明等の権利者から、報酬を得て又は報酬を得る目的で、相談を受け、交渉、和解、調停、仲裁、訴訟、その他の手続の代理を現にしていること、又は過去５年以内にしたこと。

３．申請人、特定利害関係者又は他者発明等の権利者から、報酬を得て又は報酬を得る目的で、特許等の知的財産に関する相談を受け、鑑定、交渉、若しくは特許庁に対する手続・申請の代理を現にしていること、又は過去５年以内にしたこと。

４．申請対象事業に関する申請人の権利又は他者発明等について、非公開情報の提供を受けていること。

５．自己が所属する事務所に在籍する弁護士又は弁理士が、前４項のいずれかに該当すること。

６．申請人、特定利害関係者又は他者発明等の権利者のいずれか（法人の場合は代表者）が、４親等内の血族、３親等内の姻族又は同居の親族の関係にあること。

７．３親等内の血族、２親等内の姻族又は同居の親族が、第１項に該当すること。

以上

　事件番号：２０●●年（適●）第●号

　事 件 名：事業適合性判定（●●判定）申請事件

公正性・独立性・中立性を阻害するおそれがある事由開示書

私は，標記事件につき公正性・独立性・中立性に関する言明書記載の公正性・独立性・中立性を阻害するおそれのある事由第　項に該当します。その事情は次のとおりです。

　上記に拘らず，私は，標記事件の事業適合性判定人として，公正，独立，中立に判定を行うことができると考えます。その理由は次のとおりです。

判定人